



経営者のための



銀行交渉術

第1号

平成27年5月21日(木)

発行:久保総合会計事務所

〒536-0006

大阪市城東区野江4丁目11番6号

TEL (06) 6930-6388

FAX (06) 6930-6389

実践コラム

『あらゆるリスクを想定した合理的な判断とは』

...自己資金だけで事業を行っている経営者様へのご提言です。

先日、ある社長様がはじめて相談に来られました。「資金繰りがショートしそうだ。いや既にショートしているかもしれない。」というご相談です。会社は設立4期目で金融機関からの借入はありません。社長様は、「個人で保有する数千万円の資金を会社に貸付けている。いよいよ個人の資金も底を突いてきたため、金融機関からの借入を決意した。」とのことです。

新規の融資取引は時間がかかります。

初めて金融機関と融資取引をする場合、日本政策金融公庫、もしくは保証協会の保証付融資を利用するのが一般的です。いずれの場合も、新しく取引を開始する相手には慎重になりますので、審査に1か月程度の時間を要します。よって、急場の不足資金を金融機関に頼ることはできません。当面の不足資金は何とか自力で調達して頂くよう依頼しました。

資金繰りが厳しくなればなるほど借入は難しくなります。

金融機関は原則として前向きな資金しか融資しません。事業が上手く行っていない状態で、「資金繰りが厳しい。」と言えば言うほど、「早く貸して欲しい。」と言えば言うほど、借入は難しくなります。今よりも半年前、半年前よりも1年前、1年前よりも創業時の方が、融資を受けやすかった事実をお伝えしました。

いま現在、自己資金だけで事業を行っている社長様にお聞きします。もし、自己資金が底を突いたらどうしますか。想像力を最大限に發揮して深く思考してください。

自己資金が底を突いた場合、「他人からお金を借りてまで事業を継続する気は全くない。自己資金が無くなれば事業はきっぱりやめるつもりだ。」とおっしゃる社長様は今のままで問題ありません。しかし、融資を受ける可能性が少しでもあると考えた社長様は、下記のどちらが適切な行動かを比較検討願います。

1. 自己資金が無くなつてから融資を申し込みに行ったが、融資を受けられなかつたため事業継続を断念した。
2. 手元資金は十分にあったが、念のため融資を受けて手をつけずに置いていた。事業の立ち上げに苦戦して自己資金が無くなつた為、融資金を使って事業を継続するか、それとも融資金をそのまま返済して事業を辞めるかを検討した。

1の場合、選択肢はありません。あの時融資を受けていれば良かったと、後悔が残る結果です。

2の場合、金利負担はありますが、いざという時に備えて選択肢を増やせます。あらゆるリスクを想定して対策を取るならば、2の方が合理的ではないでしょうか。

自己資金だけで事業を行っている社長様、将来的に1%でも融資を受ける可能性があるならば、今必要でなくとも、借りられる時に借りておくことを強くお薦めします。初めて融資を申し込み時は、分からぬことも多くあると思います。弊所にて、申し込み先の選定や、審査のポイント等、無料で丁寧にご説明させて頂きます。是非、ご相談ください。

お役立ち情報

『「エネルギー使用合理化等事業者支援補助金」について』
...省エネにつながる既設設備の更新に利用できる補助金です。

「エネルギー使用合理化等事業者支援補助金」は、工場・事業等における既設設備・システムの置き換え、製造プロセスの改善等により、省エネルギー化を行う際に必要となる費用の一部を補助してくれるものです。概要をみておきましょう。

補助対象事業主
事業活動を営んでいる法人および個人事業主が対象です。

補助の対象となる事業

省エネ設備導入
工場・事業場等における既設設備・システムの置き換え、製造プロセスの改善等の改修による省エネルギー化事業

電力需要平準化対策
工場・事業場等における既設設備・システムの置き換え等により、電力需要平準化時間帯の電力使用量を削減する事業

補助対象経費

設計費
機械装置、建築資材の設計費やシステム設計費等

設備費
機械装置等の購入、製造、据え付け等に要する費用

工事費
補助事業の実施に不可欠な工事に要する費用

補助金額
対象となる経費の1/3以内で、1事業の上限は50億円(下限100万円)です。
エネルギー管理支援サービス業者と連携し、エネルギー・マネジメントシステムを導入する場合は、対象経費の1/2以内となります。

募集期間ほか
平成27年6月から公募開始の予定です。
申請額が予算額(約400億円)に達すると募集期間内でも受付終了となります。
同様の補助金では、「省エネルギー設備導入補助金」が公募開始から約1か月で予算額の800億円に達して受付終了となりました。設備の更新等をお考えの方は、早めにご検討ください。